

平成31年度 事業報告  
(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

## 重 点 事 業

### 【重点】1 各地域団体と協働した地域福祉活動の展開

福祉コミュニティの組織である「校下社協」、「ネットワーク委員会」および「まちづくり協議会（地域活動協議会）」が、それぞれの強みや実績を生かしながら、多様な人、組織の参画と協働により、一人ひとりの暮らしを大切にする地域福祉活動が展開できるよう、関係性を整理し、支援体制の強化・充実を図りました。

#### 1. 校下社協・ネットワーク委員会・まちづくり協議会（地域活動協議会）

##### (1) 校下社会福祉協議会会长・ネットワーク委員会合同会議

###### ① 6月26日

助成金について、募集要項等の説明を行い、衛生研修の説明を行いました。また、見守り相談室をはじめとした各事業報告を行いました。区社協における福祉コーディネーターの役割、活動について報告を行いました。

###### ② 2月10日

平成31年度事業について、「地域活動」「生活支援体制整備事業」「見守り相談室」の実施体制等について説明、事業アンケート、ふれあい福祉マップの作成、助成金申請書の説明を行いました。災害支援「長野市へのボランティアバスの運行」の報告、コミュニティ農園の現状や来年度の方向性について説明を行いました。また、生野区地域包括支援センターの公募の報告を行いました。

##### (2) 校下社協助成金、地域共生ケア助成金

助成金の内容について、個別に相談支援の対応を行った。

##### (3) 各ブロックおよび各まちづくり協議会事務連絡会への参加

###### ① 各ブロックまちづくり協議会事務連絡会議への参加

Aブロック	11回	Bブロック	7回
-------	-----	-------	----

Cブロック	7回	Dブロック	9回
-------	----	-------	----

###### ② 地域行事への支援

Aブロック・・・スリーアイズ	Bブロック・・・スリーアイズ
----------------	----------------

Cブロック・・・防災研修はコロナのため中止	Dブロック・・・雪まつり
-----------------------	--------------

#### 2 防災を通じて、地域とNPOをつなぐ取組み。

地域防災計画作成において、要援護者に関わる地域の専門職・地域資源としてのNPOをつなぎました。（生野南・東中川・小路）

#### 3 福祉コーディネーターを核とした、地域福祉への取組みを支援。

食事サービス・喫茶への参加することで、地域の事業の中に見守り・つながりを大切にした視点への支援をしました。また、地域の見守り活動者とともに熱中症予防の

見守り訪問を実施しました。

福祉コーディネーターの企画立案によりボランティア交流会等、ボランティアの活性をあげる事業を実施しました。

#### 4 地域福祉の課題解決に向けた支援

Dブロックの移動支援会議を継続し開催しました。

地域福祉の課題解決に向け、レクリエーションを通して、コミュニケーションをとることで人とのつながりづくりを大切にすることを目的にボランティア研修を開催しました。

## 【重点】2 セーフティネットと地域におけるつながりづくり

セーフティネットの一層の充実を図るため、地域包括支援センターや生活困窮者自立相談支援事業、見守り相談室、ご近“助”パワフルサポート事業などの相談支援事業を軸に、各関係機関・団体との連携を行いました。子どもから高齢者を対象に、当事者の立場に立った寄り添い支援を心がけ、深刻な生活課題については地域の課題として共有化を図り、解決に向けた検討を行い、つながりのある地域づくりを推進しました。

区内地域包括支援センターと個別支援にかかる連携および情報共有のため、小圏域会議や地域ケア会議へ参画。また、本会地域包括支援センターと生活困窮者自立相談支援事業、見守り相談室が実施する個別ケース会議においても行政や障がい者相談支援センターと連携し幅広い視点から個別支援に対応しました。

- 各相談支援事業と行政の会議への参画

つながる場：年4回、生困シェア会議：年4回

- ゴミ屋敷等支援のため各相談支援事業と行政の会議への参画

いくのくらしリセット会議：年6回

- 地域住民、関係機関と各相談支援事業が地域の高齢者や家族への重層的な支援について具体的な解決を図り関係機関の連携強化につなげるため、地域ケア会議を開催。

地域ケア会議：年6回

- 専門家、地域での支援者、介護保険事業者、行政、地域包括による事例検証および課題抽出のため、各々会議を開催。

振り返り会議：年2回、課題抽出会議：年2回

- 地域包括が主体となり地域住民や各相談支援事業者が、地域包括圏域内の高齢者を支援できるシステムの構築、地域ネットワーク強化をめざし校区ケア会議や小圏域会議を開催。

見守り相談室等が参画した校区ケア会議や小圏域会議：年91回

- 地域へ出ることが多い配達・配送を主とする民間事業者と連携し、異変を感じることがあれば連絡いただけるよう協力関係を構築しており通報事例等を共有するため定期的に会議を開催しました。

地域で孤立死をなくす民間事業者との連携検討会議「つながっていくの」：年12回

「つながっていくの」構成団体：区役所、区社会福祉協議会、区内4地域包括支援センター

- フードバンクを活用した食糧支援。

区内の低所得者等が、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に再び自立できる機会とする目的としてフードバンクを活用した食糧支援を実施しました。

見守り相談室で面談・訪問：面談107件、訪問52件

- 共同募金等を活用した乳幼児・子育て世帯への支援。

上記以外で緊急かつ一時的に生活困難になった乳幼児・子育て世帯へ衛生物品等の現物提供による支援を実施しました。

見守り相談室で支援した乳幼児・子育て世帯：4世帯（大人6名、子ども11名）

### 【重点】3 災害時の支援

増加する災害に備え、災害ボランティアセンターの基盤整備に積極的に取組むとともに、行政等との連携、協働により災害時における要援護者の把握と地域ぐるみの支援の促進に努めました。

- ・12月20日 長野県長野市に向けて、ボランティアバス運行

天王寺区社協と共に台風被害で水の被害の大きかった長野市の果樹園を拠点に、ボランティア活動を行う（参加者21名）

- ・5月～2月 防災会議・防災訓練にNPO団体も一緒に参加。（生野南・東中川・小路）

- ・12月7日 「第6回生野防災フェスタ」 生野区赤十字奉仕団、ロータリークラブと生野区社会福祉施設連絡会が合同で開催。施設連事務局として参加。イベントを運営することで地域と施設の相互理解を図りました。

## 【重点】4 生活支援サービスの取組みを推進

平成28年9月より、大阪市から委託を受け「多様な主体による生活支援・サービスの充実を図る」ことを目的に実施。社会資源（住民主体の居場所）の創出、ボランティアグループの立ち上げを支援しました。（削除）平成31年度は、区役所など関係機関の力添えを得て、野菜づくりをきっかけとして地域の子どもから高齢者までがつながれる場、地域の福祉活動が循環する場をめざしコミュニティ農園を開園しました。また、住民主体の地域づくりの一つとして、住民自身が課題を知り、地域福祉活動につなげること、また専門職同士で地域特性を把握し、支援を展開することを目的に、情報を共有する場として学識経験者を交えて4地域包括支援センター、プランチ、区役所等と連携した地域アセスメント会議を実施しました。

### 1 介護予防の取組み

#### (1) ボランティア講座の開催

##### ①男性の居場所（栽培ボランティア養成講座）開催

定年退職後75歳までの男性を対象に講座開催しました。

収穫した野菜は、子ども食堂などへ寄付をしました。

2期生ボランティア講座：10月17日～12月20日

##### ②スマホ講師養成講座の開催

生野区在住65才以上の方を対象にスマホ講座を開催しました。受講者は、地域でボランティア講師を担い、スマホを通じてコミュニティ作りができるよう支援しました。

スマホ講師養成講座：7月9日、23日、9月3日、24日

老人センターと共に：2月4日、14日

生野会館で出前講座：5月28日、29日、6月11日、2月7日、10日

#### (2) 活動の場づくり

##### ①住宅地区改良事業用地を活用した農園コミュニティづくり

##### ②地域で90歳以上限定のお話し広場立上げ支援

##### ③生野区老人福祉センターと共に「相撲甚句サークル」立上げ支援

##### ④介護予防ポイント事業（施設・在宅コース）への協力

#### (3) ネットワーク化

・食と農のプロジェクト会議に参画

・福祉有償運送会議に参画

#### (4) 情報の発信

・「いくのでいこう（憩う）」の発行・・・第7号発行

区内の社会参加の場、拠点情報や生活支援の活動などを掲載

・「いくのでいこう（憩う）」号外版の発行

生野区リハビリテーション連絡会と連携し、家でできる体操を特集

#### (5) ニーズと地域資源の把握

・多職種で地域アセスメント勉強会開催

### 2 生活支援の取り組み

#### 生野区の交通手段の課題

・ボランティアグループ「お出かけ支援」の立ち上げ支援・会議開催

## 実施事業

### 【地域活動推進】

#### 1 法人の運営

##### 〔自主財源づくり〕

(1) 会員制度の充実強化（組織構成会員制度の定着化、賛助会員・住民会員募集の強化）

###### 広報・周知活動

- ・6月 「ふれあい生野」第60号に賛助会員募集案内を掲載
- ・7月 賛助会員及び組織構成会員への30年度の案内

(2) 地域福祉の推進と一体となった自主財源づくり

区社協会員、賛助会員の拡充を図るとともに、企業や事業所へ寄付の働きかけを行うなど、善意銀行を窓口にした地域福祉活動財源づくりを積極的に進めました。

###### ・平成31年度会員会費

住民会員（一口千円） 個人 55名、町会 207

・賛助会員（一口1万円） 団体 30 法人 31

・善意銀行への寄付（預託）の呼びかけの実施

#### (3) 共同募金運動の推進

- ・5月13日 区共同募金運営委員会の開催
- ・7月9日 区役所へ共同募金運動への協力依頼
- ・7月10日 区地域振興会連合振興町長会  
共同募金戸別募金等の協力依頼
- ・7月17日 各学校（園）へ共同募金運動の啓発・学校募金の依頼
- ・10月1日 共同募金運動開始
- ・11月～ 各募金の受付・とりまとめ
- ・2月13日 平成30年度共同募金運動実績報告（府共同募金会）

## 2 通年事業

事業名	事業内容	備考
広報紙 「ふれあい生野」発行	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ふれあい生野」第60号（6月）、第61号（10月）、第62号（1月）を発行</li><li>・校下社協編集委員参加のもと編集委員会（5/10、9/9、12/13）を開催、企画を行い作成</li><li>・朝日、大阪日日、産経、日経、毎日、読売新聞への折り込みによる配布</li></ul>	作成部数 124,000部
社会福祉施設 支援・協働事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・災害時の施設内での取り組みや地域とともに考える防災の取組み</li><li>② 地域防災と社会福祉施設とのかかわりについての研修</li></ul>	生野区社会福祉施設連絡会

	<p>会</p> <p>②生野区社会福祉施設連絡会・生野区赤十字奉仕団、東南ロータリークラブ合同防災イベント「いくの防災フェス タ～施設と地域の顔の見える関係を拡げていきたい～」では、地域の取組み、防災の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でもが参加できる生野区ふれあいコンサートを実施(9/23)</li> <li>・施設間の交流を目的にメンタルヘルス研修(7/18)を開催</li> <li>・役員会(計8回)、総会(4/24)を開催し、事業実施内容などを協議</li> </ul>	
ふとん丸洗い 乾燥サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校下社協会長・民生委員長・関係機関等に広く周知し、重度障がい者世帯を対象として、利用者に一部負担をしていただき、ふとん丸洗い乾燥を実施</li> <li>・高齢者世帯については、大阪市の事業実施主体として社会法人およびNPO法人施設2事業者共同で実施 申込期間 11月1日(金)～11月22日(金) 実施期間 1月14日(火)～2月1日(土) 平成31年度 区社協分サービス利用者数…3名</li> </ul>	ふとん丸洗い 乾燥委託業務
各研修会開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月29日(月) 衛生研修会</li> </ul>	
おもちゃ図書館 おもちゃの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の子育てサロン・サークル、幼稚園、子ども・子育てプラザ・区まちづくりセンター・地域活動協議会・いくのっ子応援事業実行委員会などを対象におもちゃの貸出しを行った。</li> <li>・第4土曜日『地域共生サロン全員集合!』にて遊びスペースとして活用</li> </ul>	ボランティアグループ「輪母ネットワーク」協力 貸出10件
車いす貸出事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時的に車いすを必要とする区民や車いす体験等の福祉研修用に貸出しを行った。</li> </ul>	個人 68件 学校・団体3件
パソコン等 物品貸出事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校下社協などで防災訓練や防災講演会などの実施時、必要な物品の貸出しを行った。</li> </ul>	貸出23件
生野まつりへの参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい喫茶の周知を目的に、「ふれあい喫茶無料チケット」を配布し、各校下において105枚の使用があった。</li> </ul>	19校下

### 3 会 議

日 時	会 議	会 議 内 容	場 所
6月3日 14時00分～	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度事業報告(案)について</li> <li>・平成30年度決算報告(案)ならびに監査報告について</li> <li>・理事・監事・評議員の推薦(案)について</li> <li>・定時評議員会の開催(案)について</li> <li>・その他</li> </ul>	生野区在宅 サービスセンター 2階 会議室
6月26日 14時00分～	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度事業報告(案)について</li> <li>・平成30年度決算報告(案)ならびに監査報告について</li> <li>・理事の選任(案)について</li> <li>・その他</li> </ul>	生野区在宅 サービスセンター 2階 多目的室
6月26日 15時30分～	第1回 校下社協会長・ ネットワーク委 員長 合同会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金について</li> <li>・区社協における福祉コーディネーターについて</li> <li>・見守り相談室について</li> <li>・生活支援体制整備事業について</li> <li>・生野区地域包括支援センターについて</li> <li>・衛生研修について</li> <li>・その他</li> </ul>	生野区在宅 サービスセンター 2階 多目的室
7月3日 14時00分～	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長・副会長の選定について</li> <li>・その他</li> </ul>	生野区在宅 サービスセンター 2階 多目的室
1月28日	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市生野区社会福祉協議会衛生管理規定(案) について</li> <li>・その他</li> </ul>	生野区在宅 サービスセンター 5階 会議室
2月10日 14時00分～	第2回 校下社協会長・ ネットワーク委 員長 合同会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度事業について</li> <li>・アンケートとのお願い</li> <li>・その他</li> </ul>	生野区在宅 サービスセンター 2階 多目的室
3月17日 14時00分～	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業計画(案)について</li> <li>・令和2年度予算(案)について</li> <li>・理事候補者の推薦(案)について</li> <li>・諸規則の一部改正(案)について</li> <li>・定時評議員会の開催(案)について</li> <li>・その他</li> </ul>	生野区在宅 サービスセンター 2階 会議室

3月27日 14時00分 ~	評議員会	・平成2年度事業計画（案）について ・平成2年度予算（案）について ・理事候補者の選任（案）について ・その他	生野区在宅 サービスセンター 2階 会議室
----------------------	------	--	-----------------------------

【その他会議への参加】

- 各校下社会福祉協議会・各まちづくり協議会関連会議・研修への参加・支援
- 生野区子育て支援会議・地域共生ケア生野推進委員会への参加
- 各種連絡会（児童虐待防止連絡会議、地域自立支援協議会、くらしのリセット会議、孤立死を防ぐための民間業者との連携会議、学童期のこども支援連絡会、いくのっ子応援事業実行委員会、音でつながる地域交流会、食と農のプロジェクトをすすめる会・N P O連絡会）への参画

**善意銀行事業報告**

市民や団体、企業のみなさまから預託（寄付）された現金や物品を基に、「善意銀行」を設置し、助成金や物品の払出を行うことにより、預託いただいたみなさまの善意を地域福祉活動やボランティア活動の推進のために活用しました。

**1 善意銀行事業について**

<金銭口座>

預 託	6 件	計 137, 324 円
払 出（助成事業等）	22 件	計 1, 170, 000 円
〈助成先〉	〈対象事業〉	〈金額〉
平成31年度善意銀行助成事業	区内2団体	290, 000 円
福祉ボランティア活動応援資金	区内の福祉ボランティア活動 (22の団体・グループ)	868, 676 円

<物品口座>

預 託	12 件	・ウエス（4件）・米910kg・フリーズドライ食品・冷蔵庫 ・ベリーダンス衣装、デコパーツ・バスタオル、タオル、靴下、エプロン、パジャマ等
払 出	36ヶ所	・見守り相談室・生活困窮者自立支援（フリーズドライ食品） ・17校下（食サ、子ども食堂等実施地域）・食サ2・校下社協3・8施設（お米） ・デイサービスセンターおかちやま（冷蔵庫） ・見守り相談室（精米）・見守り相談室・生活困窮者自立支援（バスタオル、タオル、靴下、エプロン、パジャマ等）

## 2 善意銀行運営委員会の開催について

日時	会議内容	場所
5月13日 14時00分～14時50分	・平成30年度 善意銀行事業実績報告 ・平成31年度 善意銀行「特定テーマ」払出 「福祉ボランティア活動応援資金」払出先の審査について ・平成31年度 善意銀行助成事業の募集について	生野区在宅サービッセンターカー 2階多目的室
8月29日 14時00分～14時50分	・平成30年度 善意銀行事業 決算報告 ・平成31年度 善意銀行 助成事業 助成金払出について	生野区在宅サービッセンターカー 2階多目的室

### 共同募金配分金事業報告

地域福祉の向上を目的とした共同募金会からの配分金を基に、区社協活動の充実強化と各種グループ・団体への活動助成を行いました。

共同募金配分金の使途については、共同募金運営委員会を開催し、検討するとともに、生野区ふれあい事業等助成金交付について審査を行いました。

## 1 共同募金配分金事業について

主な使途	備考
校下社協育成事業	校下社会福祉協議会への助成金。 (国勢調査をもとに、各校下単位に配分金額を算出)
生野区ふれあい事業等助成金	生野区内の団体、NPO、ボランティアグループ等が実施する地域福祉推進を目指す事業に対して助成金を交付。30団体へ助成。
区民まつりにおける福祉活動啓発	「区民まつり」における区社協ブースにおいて、ふれあい喫茶実施及び、区社協事業及び校下社協活動の周知・啓発。
地域共生ケア事業助成金	校下社会福祉協議会等がおこなう、高齢者、障がい者、子どもが一緒に集う地域共生方の場づくりや世代間交流等の行事に対して助成金を交付。 21団体へ助成。
広報啓発事業	広報紙の発行やパンフレット、ホームページの更新等、区社協事業の啓発を行いました。
「夏場の衛生 食中毒予防～安全・安心な地域の活動のために～」(衛生研修)	喫茶や食事サービス等の地域活動者に向けて衛生研修会を夏・冬前に開催。 7月：19校下 34名
ふとん丸洗い・乾燥サービス	障がいのある方で、ふとん干しができない方に対しふとん丸洗い・乾燥の経費を助成。3名(ふとん4枚・毛布1枚)

災害ボランティア活動支援センター設置・運営準備事業	長野県長野市に向けて、ボランティアバス運行 天王寺区社協と共に、台風被害で水の被害の大きかった長野市の果樹園を拠点に、ボランティア活動を行いました。
緊急食料等提供事業	生野区内に居住している低所得者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に食料等の生活に必要な現物を提供することにより、一時的な生活支援をおこない、再び自立できる機会とすることを目的として、2,000円以内で食料を提供しました。0件0名。今回は、フードバンクの利用で食料を提供しました。
ボランティア育成事業	喫茶・ふれあい型高齢者食事サービス実施団体へ、検便費の助成。18団体 延べ474名分。事業実施のために必要な衛生物品を助成しました。
地域の居場所作りへの支援事業	空地を利用して、子どもから高齢者・生きづらさを抱えた人が野菜栽培をツールとしたコミュニティの場つくりを目的とし、空き地を農地にする整備費用。
地域福祉の出前講座	大学の講師を招き、レクリエーションを通して、コミュニケーションをとることで人とのつながりを大切にする講座を開催しました。
福祉教育推進事業	専門講師による福祉教育を小中学校で実施しました。
車いす貸出し事業	在宅の生野区民または、施設・団体等に車いすを貸し出すことにより、区民の福祉向上、施設・団体等の地域福祉活動に寄与することを目的として実施しました。

## 2 共同募金運営委員会の開催について

日時	会議内容	場所
5月13日 14時00分～14時30分	・平成30年度 共同募金配分金事業について ・平成31年度 共同募金配分金事業について ・校下社協助成金(共同募金)について	生野区在宅サービセンター 2階多目的室
8月29日 15時00分～15時30分	・平成31年度 生野区ふれあい事業等助成金について ・校下社協助成金の交付について ・地域共生ケア事業助成金の交付について ・平成31年度 共同募金運動について	生野区在宅サービセンター 2階多目的室

## ボランティア・市民活動センター事業報告

生野区ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動や市民活動の活性化と地域福祉の増進を目的として、区内で活動をしているボランティア団体や市民活動団体へ、様々な相談や支援をおこないました。

事業についての運営、活性化を図るために、12名の委員で構成される運営委員会を設けており、31年度は9月4日、2月3日に開催しました。

### 1 ボランティア利用登録者数

個人利用登録		グループ利用登録	
新規利用登録者	利用登録者総数	新規利用登録 グループ	利用登録 グループ総数
15名	72名	3グループ	65グループ

### 2 広報・啓発事業

	事業名称	備考(内容・啓発先等)
1	生野区ボランティア・市民活動センター だよりの発行 (区社協広報誌「ふれあい 生野」4面に掲載)	グループ紹介・活動募集等／関係機関 (年3回)
2	区社協広報誌「ふれあい生野」による広 報・啓発	地域活動紹介等／新聞折込、関係機関 (年3回)
3	生野区社会福祉協議会ホームページ・フ ェイスブックの活用	各講習会、活動募集記事、ボランティアグル ープの活動掲載
4	生野区ボランティア・市民活動センター リーフレット配付	生野区ボランティア・市民活動センターの役 割や活動内容について広報、啓発

### 3 ボランティア養成事業

	事業名称	備考(内容・延べ参加人数等)
1	音訳ボランティア養成講座 (全5回) 10/15、29、11/5、11/12、19 講師：松崎 明美氏	発声・発音・アクセントの基礎 詩、時代小説、絵本の朗読 参加者 延べ14名
2	点訳ボランティア養成講座 (全17回) 9/7～R2/1/25	点訳の基礎、点字器を使用しての実 習、パソコン点訳の実習、講演会 参加者 延べ50名
3	在日高齢者支援ボランティア養成講座 (全5回) 11/2、9、16、23、30	在日コリアン講座の意義・目的、歴 史と文化の実際、高齢者の生活、当 事者のお話、健康と生活、体験学習、

		ボランティアによる支援、参加者交流会 参加者 延べ 60 名
--	--	-----------------------------------

#### 4 活動支援事業

	事 業 名 称	備考 (内容・延べ参加人数等)
1	ボランティアルーム貸出 コピー機の活用	延べ 319 グループ 登録グループ無料利用 (用紙持込み)
2	地域共生サロン「全員集合！」	地域共生ケア生野推進委員会の「たまり場づくり事業」のモデルとして毎月第 4 土曜日に開催。障がいがあってもなくても、国籍が違っても、おとなも子どもも一緒に安心してすごせる場として展開。
3	ボランティア交流会	大阪ボランティア協会から、講師のお話とボランティアグループ活動の意義や課題についてのグループワーク 7 月 20 日(土) 参加者延べ 34 人
4	ボランティアバスの運行	台風 19 号の影響で被災した長野県長野市への災害支援をおこなうために、天王寺区社会福祉協議会と共にボランティアバスを運行。 12 月 20 日～22 日 ボランティア参加者 17 名
5	ボランティア交流会	「ボランティア同士の横のつながりをつくりたい」とのことから、ワールドカフェ形式の交流会を企画。 3 月 14 日

#### 5 協働・共催事業について

	事 業 名 称	協働・共催団体
--	---------	---------

#### 6 登録ボランティアグループ一覧 (登録用紙提出グループ)

	グルーブ名	会員数	設立年月
1	あじさいブッククラブ	16	平成 17 年 1 月
2	いきいき歌体操生野グループ	8	平成 7 年 4 月
3	サロン「アイ」	7	平成 11 年 4 月
4	ハイビスカス	30	平成 14 年 4 月
5	ヒューマンサポート・カノン	16	平成 17 年 1 月
6	音訳ボランティアグループ「かたつむり」	21	平成 12 年 7 月
7	がんばろう会	17	平成 10 年 7 月
8	喫茶ボランティアグループ「いなほ」	12	平成 11 年 7 月

9	桔梗の会	35	平成 16 年 6 月
10	紙芝居「すみれの会」	6	平成 11 年 4 月
11	来夢来人	6	平成 14 年 1 月
12	精神保健福祉ボランティアグループ「一期一会」	6	平成 14 年 3 月
13	唄うももの会	20	平成 22 年 1 月
14	カトレア会	66	平成 4 年 4 月
15	勝山みんなが集うばおひいさん	15	平成 23 年 10 月
16	輪母ネットワーク	95	平成 24 年 5 月
17	小路ドッジ ポールクラブ グレープ ハーツ	79	平成 24 年 11 月
18	A—y a n ! ! 関西をアートで盛り上げる団	7	平成 17 年
19	おおさか・いくの・おもちや病院	9	平成 25 年 6 月
20	ピーターパン	6	平成 25 年 6 月
21	たんぽぽ	7	平成 25 年 7 月
22	みんな de チクチク	19	平成 24 年 6 月
23	傾聴ボランティア 七夕の会	17	平成 26 年 7 月
24	介護理・美容グループひだまり	11	平成 12 年 4 月
25	大阪市音楽コミュニケーションボランティア グループ「ひびき」	9	平成 6 年 11 月
26	在日コリアン高齢者ボランティアグループ「モヨラ」	24	平成 26 年 12 月
27	生野手話サークル「レインボー」	55	平成 7 年 5 月
28	第九町会三味線サークル	8	平成 21 年 11 月
29	ひまつぶしの会	10	平成 24 年 2 月
30	音楽クラブ	8	平成 10 年 2 月
31	生野区食生活改善推進員協議会	124	昭和 54 年 10 月
32	創笑科	8	平成 26 年 4 月
33	生野点訳サークル	13	平成 17 年 4 月
34	もも・じゅんクラブ	15	平成 29 年 1 月
35	Sunny Smile	5	平成 28 年 4 月
36	特定非営利法人 I L D プロジェクト	18	平成 11 年 11 月
37	クレイケアボランティアの会 MARU 生野	8	平成 29 年 11 月
38	すずめの会	11	平成 23 年 1 月
39	「いくの大好きっ子」の会	5	平成 30 年 2 月
40	大阪市スポーツ推進委員生野協議会	30	昭和 57 年 5 月
41	いくすく子ネクト	5	平成 28 年 7 月
42	タツノコクラブ	5	平成 29 年 4 月
43	コミュニティ・ガーデン nichinichi	7	平成 29 年 2 月
44	こころと絆プロジェクト	7	平成 29 年 7 月
45	生野区介護家族ゆとりの会	19	平成 23 年 4 月

46	風ぐるま	7	平成 25 年 6 月
47	大阪市生野区少年少女発明クラブ	10	平成 24 年 4 月
48	コリアボランティア協会	19	平成 6 年 1 月
49	手話サークル生野	22	昭和 57 年 3 月
50	生活習慣予防教室終了の会 ひまわり会	150	平成 6 年 4 月
51	つるのはしマルシェ	16	平成 28 年 9 月
52	生野区まち案内人の会 いくナビ	17	平成 24 年 4 月
53	生野区在日韓国朝鮮人・多文化共生ネットワーク (じゅうみんといろ)	11	平成 30 年 4 月
54	なんでも相談いらっしゃ~い	13	平成 30 年 4 月
55	クロススペース	11	平成 29 年 4 月
56	おはなしひろば	5	平成 28 年 7 月
57	はるる企画	7	平成 30 年 3 月
58	ひとことつむぐ	3	平成 30 年 7 月
59	IKUNO サラダボウルプロジェクト	17	平成 28 年 12 月
60	たつみお出かけ支援の会	12	平成 30 年 6 月
61	はっぴい座	7	平成 29 年 10 月
62	総合支援ボランティア団体 GRANDE	5	平成 24 年 8 月
63	新栽培ボランティアグループ	8	令和元年 9 月
64	新一般社団法人 いくのもり	4	令和元年 6 月
65	新スカーレット	8	令和元年 9 月
計	ボランティアグループ 65 団体	1,297 人	

## 7 ボランティア保険の受付

ボランティア保険		行事保険	非営利有償活動保険	移送中事故障害保険
個人	グループ	312 件		
52 名	54 件	17,787 名	2 件	1 件
	1,137 名			

## 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業報告

少子高齢化の進行や社会経済情勢の変化、地域におけるつながりの希薄化などを背景に、いわゆる「孤立死」に代表されるような社会的孤立など地域における生活課題は複雑化・多様化・深刻化しています。また、認知症高齢者等が増加するなかで、徘徊により道路や線路内で事故にあうなど深刻な問題が発生しています。

これらの問題を踏まえ、地域と行政が一体となって“誰もが安心して暮らしやすい”地域づくりに向け事業実施しました。

### 1 地域における要援護者の見守りネットワーク事業

#### 〔実施状況〕

##### 1 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備

行政と地域が保有する要援護者の情報を集約し、地域等への情報提供に係る本人の同意を確認して地域の見守り等につなぎました。

###### (1) 郵送および個別訪問による同意確認

対象者：(高齢)要介護3以上または要介護2以下で日常生活自立度Ⅱ以上の方

(障がい)身体障がい者1・2級の障がい者手帳をお持ちの方。

知的障がい者A・精神障がい者1級・視覚障がい、聴覚障がい

3・4級・音声、言語機能障がい3級・肢体不自由3級のある方

(難病)人工呼吸器装着者等、医療機器等への依存が高い方

対象者数：1,878名

回答数：1,510名（80.4%）

同意：1,329名（88%）、不同意：181名（12%）

未回答：368名（個別訪問により同意確認中 19.6%）

###### (2) 地域への名簿提供 区内19地域に対し5,420名分を提供

##### 2 孤立世帯等への専門的対応

地域社会との繋がりを持たない、社会から孤立した状態で亡くなる危険性の高い要援護者やセルフネグレクトの状態にある方に対して、見守りネットワーカーがねばり強くアウトリーチを行い、地域の見守り等につなぎました。

#### 《相談件数》

訪問	電話	来所	その他	合計
1,020件	951件	229件	219件	2,419件

#### 《相談実人員》

相談実人員	性別内訳		
	男	女	不明
627名	271名	351名	5名

#### 年齢内訳

0～6	7～17	18～39	40～64	65～74	75～	不明
2名	2名	37名	90名	100名	362名	34名

#### 《属性内訳》

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| ・要支援・要介護の高齢者：383名  | ・身体障がい者・児：15名 |
| ・要支援・要介護以外の高齢者：90名 | ・知的障がい者・児：12名 |
| ・生活困窮者：80名         | ・精神障がい者・児：22名 |
| ・難病：1名             | ・発達障がい者・児：0名  |
| ・引きこもり：4名          | ・ゴミ屋敷：3名      |
| ・子育て中の保護者：4名       | ・その他：13名      |

#### 《ケース会議》

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| ・個別ケース会議の開催 6回 | ・個別ケース会議への出席 97回 |
|----------------|------------------|

### 3 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

事前に登録している認知症高齢者が行方不明になった場合に、氏名や身体的特徴等の情報をメール・FAXにより協力者に配信し、行方不明時の早期発見につなげました。

協 力 者：区内地域包括支援センター（4か所）、プランチを含む事業所（5か所）

民生委員・児童委員（156名）、東中川ボランティア委員（24名）

【交通機関】区内各地下鉄駅、市バス、阪急電鉄、阪神電気鉄道、  
南海電気鉄道、近畿日本鉄道

【企業】株式会社セブンイレブン・ジャパン、明治安田生命保険相互会社  
株式会社泰イコク製薬会社、第一交通株式会社

登録者累計：286名

【性別内訳】男性：118名、女性：168名

【年齢内訳】75歳以上：240名、65～74歳：39名、65未満：7名

※機能①から認知症のご家族を抱えるお宅へ訪問し事業説明を実施しました。

個別に訪問し事業説明をすることで現在も登録者数は増加しています。

## 2 各種会議等への参画

### （1）地域自立支援協議会への参画

#### 〔実施状況〕（年4回）

- ・障がい者が抱える課題を行政主体に解決に向け検討

### （2）障がい者虐待防止連絡協議会への参画

#### 〔実施状況〕（年1回）

- ・大阪市（生野区含む）における障がい者虐待の状況について区役所より、  
平成29年度障がい者虐待対応状況及び虐待防止にかかる取り組み報告

### （3）生野区くらしリセット連絡会議（いくくら会議）への参画

#### 〔実施状況〕（年6回）

- ・連絡会議（隔月1回）に参画

区役所、区内地域包括支援センター、区障がい者相談支援センターとともに住居  
における堆積問題について、関連機関と情報交換および支援方法について協議

#### (4) 総合的な支援調整の場「つながる場」への参画

##### 【実施状況】(年4回)

- ・必要に応じ開催

複合的な課題を抱えた世帯に対し区役所、区内地域包括支援センター、区障がい者相談支援センターとともに地域における見守りの仕組みづくりに取り組むため、行政や関係機関と情報交換および見守り体制構築に向け協議

#### (5) 民間事業者との連携による孤独死防止の取組み

##### 【実施状況】(年12回)

- ・「つながっていくの」連絡会と認知症NWワーキング会議を合同で開催し、各地域包括、区役所と情報交換、共有をおこなうとともに啓発について協議
- ・協力連携関係にあるライフライン事業所へ実際に地域を回る配達員等に事業主旨を理解いただけるよう周知チラシを作製しました。

#### (6) 認知症サポーター養成講座の開催

##### 【実施状況】

- ・認知症になつても誰もが安心して、暮らせるまちづくりのために、認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者（サポーター）を養成する講座を開催しました。

開催回数：17回

受講者数：501名

##### 《受講者内訳》

住 民：7回 252名	区役所：2回 43名
学 校：6回 262名	企 業：2回 32名

## 地域ボランティアによる福祉のまちづくり「ご近“助”パワフルサポート事業」

地域の身近な福祉相談窓口として、各地域に福祉コーディネーターを配置し真に支援を必要とする人と地域におけるボランティアのマッチングを支援するとともに、見守り支援が必要な人を地域の支援の輪に繋げ、地域住民同士が助け合う福祉のまちづくりが自発的に推進されるよう事業実施しました。

### 1 相談件数等

- (1) 相談受付：2,584 件（地域住民：2,070 件、関係機関：423 件、その他：91 件）
- (2) コーディネート：9,433 件
- (3) マッチング等 6,860 件
- (4) ボランティア登録者数：199 名（新規：5 名）

#### 《相談対応事例》

##### ○ 70代男性より

高齢で一人暮らしの男性。「買い物等ができなくなって困っている。」の相談。包括支援センターと連携し、介護保険の認定が出るまでの期間緊急に食事を確保するために買い物に同行。地域のボランティアにつなげることで介護保険サービス導入後も、挨拶を交わしている。

##### ○ 90代女性より

高齢で一人暮らしの女性。以前からごきサポ事業の利用者。毎年1回の窓ふきを昨年は日生日本語学校の生徒に。今年は地域でベトナム人を雇用している企業とつながり、就労をしているベトナムの方に企業を通じて依頼。その後企業として地域とのつながりができ、地域の事業にもかかわっている。

##### ○ 30代女性より

双子を育てているシングルマザーより、チラシを見て相談があった。子ども急に入院することになったが、一人で通院ができないので助けてほしいとの連絡があった。「見守り相談室」連携して通院。地域とつながりが全くなかつたので、退院後地域のサロンにつなぐ。その後就労が決まったのでサロンには行かなくなつたが、地域の中で見守りをしている。

##### ○ 50代男性より

精神障害のある男性が会館に来所。地域でボランティアをしたいことだったので、話を聞いて対応。地域在住の方ではなかったが、対応の難しさがあり、地域の中でも検討できるようCO研修につながった。

##### ○ 80代男性より

地域の喫茶によく来られていたが、少し物忘れが目立つようになり。夫が喫茶で靴を間違えて帰ってきたが、今後どうしたらいいかわからないと相談あり。包括とオレンジチームと連携し、受診と介護保険につなぐ。

## 2 見守り活動等

- (1) 区社協・関係機関・団体等との連携による見守り活動を実施しました。
- (2) 福祉コーディネーターの個別の対応ケースについて、「まちづくり協議会」の定例会議で報告し情報交換を行いました。

## 3 会議等

- (1) 定例連絡会：毎月第1水曜日基本に各地域福祉コーディネーターの連絡会を開催し、各地域の情報および相談対応について共有。
- (2) 定例連絡会後、福祉コーディネーターが「広報・研修会・交流会」の3グループに分かれ、各自で企画検討会議を実施。ボランティアとの交流会では、「新たな担い手づくり」について地域を越えた情報交換・交流をテーマとしたワークショップを開催しました。



ボランティア交流会



ご近所のつながりづくり

## 生活困窮者自立支援事業（くらしの相談窓口）

経済的困窮と社会的孤立など、課題が複合していることが多い生活困窮者に対し、生活全般をとらえた総合的な支援に努め、総合相談、生活支援の取り組みを強化するとともに、深刻な生活課題については地域の課題として共有化を図り、解決に向けた検討を行いました。

- ・平成31年度に大阪市生活困窮者自立相談支援事業を受託
- ・大阪市こどもサポートネットを受託

「仕事がなかなか見つからない」「働くことに自信がなく不安がある」「子どもがひきこもりで将来が心配」などのさまざまな理由により生活に困窮している方の相談を受け、必要に応じ各種支援機関や制度につなぎ、自立に向けた支援を実施しました。

〈生活自立支援相談窓口 実施状況報告〉

(H31年4月1日～R2年3月31日)

### 【新規相談受付件数】

新規相談受付件数（本人未特定を含む）	510件
うち本人特定のみ（本人同意なしを含む）	374件
うち本人特定のみ（本人同意ありのみ）	337件

### 【相談対応件数】（本人未特定相談を含む）

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
合計	4	40	38	75	60	46	67	3	333

### 【相談経路】（本人特定のみ、本人同意有のみ）

	面談場所	年間合計
本人	来所	177
	電話・メール	42
	関係先	1
家族・知人	家族・知人（来所）	7
	家族・知人（電話）	7
関係者	来所	1
	電話・メール	1
	自宅	1
	合 計	236

### 【相談の内容】

困りごとの件数(重複回答)	
病気・健康等に関すること	89
住まいに関すること	78

収入・生活費のこと	216
家賃やローンの支払いのこと	81
税金や公共料金等の支払いのこと	49
債務のこと	32
仕事探し、就職のこと	77
仕事上の不安やトラブルのこと	23
地域との関係のこと	11
家族との関係のこと	38
子育てのこと	9
介護のこと	19
ひきこもり・不登校のこと	20
D V・虐待のこと	12
食の困窮のこと	15
その他	36
合計	805

#### 【プランの実施に係る関係機関・関係者】

プラン策定件数	99
ハローワーク	37
福祉事務所（生活保護担当部署）	17
行政の障害担当部署	8
児童相談所・児童家庭支援センター	1
行政の子ども家庭担当部署	9
行政の税担当部署	1
その他行政の担当部署	7
行政の保険・年金担当部署（年金事務所含む）	5
警察	1
社会福祉協議会（生活福祉資金）	1
社会福祉協議会（資金、日常生活自立支援以外）	1
職業訓練機関	2
家計改善支援機関	2
就労支援法人・団体（就労訓練事業を含む）	27
障害者就労支援事業所	4
その他障害者支援機関	4
地域包括支援センター	11
居宅介護支援事業所・その他介護事業所	8
民生委員・児童委員	1
町内会・自治会、福祉委員、近隣住民	2
N P O・ボランティア団体	2

一般企業	5
医療機関	38
法テラス・弁護士・司法書士	22
小口貸付（生活福祉資金除く）	8
その他	9

## 生活福祉資金貸付事業報告

### 1 生活福祉資金福祉資金…<含む教育資金>

	電話相談	窓口相談	申込用紙交付	貸付件数	不承認数 (含む取下)	償還対応	完済 (含む移管)	自立支援連携件数
4月	60	25	3	3	0	36	1	2
5月	76	18	0	2	0	54	2	2
6月	75	32	4	2	0	62	0	8
7月	78	15	2	2	1	74	1	11
8月	91	33	5	2	0	81	3	6
9月	73	39	13	3	0	43	4	6
10月	42	13	2	1	0	36	4	1
11月	108	39	8	6	0	37	2	1
12月	114	33	8	7	0	66	14	1
1月	89	26	8	2	0	13	1	1
2月	122	55	9	8	0	29	0	1
3月	143	45	10	9	0	34	5	2
合計	1071	373	72	47	1	565	38	40

(相談件数は延べ人数)

### 2 緊急小口資金…(H28.4月から貸付開始)

	電話相談	窓口相談	申込用紙交付	貸付件数	不承認数 (含む取下)	償還対応	完済 (含む移管)	自立支援連携件数
4月	18	5	2	0	0	3	0	3
5月	18	10	1	1	1	4	0	17
6月	24	5	2	0	0	3	0	19
7月	35	18	2	2	1	0	0	31
8月	12	2	1	0	0	6	0	9
9月	39	20	3	2	0	0	0	37
10月	1	18	6	3	0	0	1	38
11月	31	14	3	2	3	0	2	33
12月	20	14	3	5	0	3	1	19
1月	12	0	0	0	0	9	0	8
2月	11	7	0	0	0	0	0	15
3月	25	18	3	1	0	0	0	25
合計	246	131	26	16	5	28	4	254

(相談件数は延べ人数)

76% ←貸出率

### 3 コロナ感染症 緊急小口資金特例貸付(R2.3.25 受付開始)

	電話相談	窓口相談	申込用紙交付	貸付件数	不承認数 (含む取下)	償還対応	完済 (含む移管)	自立支援連携件数
3月	195	106	75	49	0	0	0	32

### 4 総合支援資金…<含む離職者支援・臨時特例つなぎ資金>

	電話相談	窓口相談	申込用紙交付	貸付件数	不承認数 (含む取下)	償還対応	完済 (移管・引上げ)	自立支援連携
	2	0	0	0	0	4	0	2
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	15	4	1	0	0	0	0	7
7月	7	1	1	0	1	0	0	0
8月	5	1	0	0	0	1	0	5
9月	3	0	0	0	0	1	1	2
10月	27	23	4	0	0	0	1	26
11月	23	6	0	1	2	0	0	12
12月	13	3	1	1	0	0	3	3
1月	4	0	0	0	0	0	1	1
2月	10	5	1	0	0	0	0	8
3月	25	10	2	0	0	0	0	15
合計	134	53	10	2	3	6	6	81

(相談件数は延べ人数)

### 5 コロナ感染症 緊急小口資金特例貸付(R2.3.25 受付開始)…緊急小口資金が先行

	電話相談	窓口相談	申込用紙交付	貸付件数	不承認数 (含む取下)	償還対応	完済 (含む移管)	自立支援連携件数
3月	30	33	0	0	0	0	0	15

### 不動産担保貸付(リバースモゲージ)一般対象(土地評価額1000万円以上)

	電話相談	窓口相談	貸付申請	貸付承認件数	不承認数 (含む取下)	自立支援連携件数
4月-3月	31	16	1	0	1	4

(相談件数は延べ人数)

・要保護者向け(土地評価額 500 万円以上)の不動産担保貸付は、

区保健福祉センター生活支援受付面接が担当(取扱件数は不明)

## あんしんさぽーと(日常生活自立支援)事業報告

あんしんさぽーと(日常生活自立支援)事業は、認知症や知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的とし、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理サービス、預かりサービスなどを行いました。

生野区の事業開始当初は契約者が 11 名であったが、令和 2 年 3 月末現在の契約数は、157 名でした。

契 約 者 内 訳					相 談 延 ベ 件 数			
認 知 症	知 的 障 が い	精 神 障 が い	そ の 他	合 计	電 話 ・ 来 所 に よ る 相 談		訪 問 に よ る 相 談	
104 件	16 件	37 件	0 件	157 件	認 知 症	1,423 件	認 知 症	1,867 件
					知 的 障 が い	375 件	知 的 障 が い	304 件
					精 神 障 が い	1,408 件	精 神 障 が い	837 件
					そ の 他	171 件	そ の 他	26 件
					計	3,377 件	計	3,034 件

※ 事業開始後、累計で 死亡 143 名、  
解約（成年後見制度への引継ぎ含む）  
61 名、移管 12 名

## 介護予防事業報告

介護予防教室事業では、要支援、要介護状態になることを防ぐとともに、できる限り自立した生活を送り、自己実現を達成できるよう、65 歳以上の対象者に対して次の事業を実施した。

### 介護予防教室事業「いきいき教室（はーとちゃん教室）」

- ・介護予防を目的とした内容にて、区内 19 校下の会館等で毎月 1 回いきいき教室・はーとちゃん教室として開催しました。
- ・地域との連携・協働の推進

実施回数 204 回 のべ参加者 3,261 名

## 居宅介護支援事業報告

介護サービスの内容を本人、家族等と相談しながら適切にサービスが受けられるよう、平成 12 年度より介護保険法にもとづく居宅介護支援事業を大阪府の指定を受け実施してきました。

要介護 1～5	264 件
要支援 1～2	168 件

## 通所介護事業報告

通所介護（デイサービス）事業では、介護保険のサービスとして要支援・要介護の方に通所による食事・入浴・送迎・健康チェック・レクリエーション・生活相談のサービスを提供しました。

集団生活の中で、利用者が社会的孤立しないために、みんなでの楽しい食事・介助入浴など安心してゆったりとした時間を過ごすことができるよう、個別のプランにもとづいて援助しました。

ご家族に対しても、精神的・身体的に介護負担の軽減ができるように支援しました。

### 1 年間利用状況

開設日数	240日
延べ利用人数	2,242名
1日平均	9.3名

### 2 月別利用者状況（30年4月～31年3月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開設日数	20	20	20	22	20	19	21	20	20	19	18	21
延べ利用人数	190	202	193	213	187	186	206	200	178	165	149	173
1日平均	9.5	10.1	9.7	9.7	9.4	9.8	9.8	10.0	8.7	8.3	8.2	9.3

### 3 年間行事

4月 お花見交流会 6月 かくし芸大会（区民ホール）

8月 夏まつり 9月 観劇会

10月 スポーツ大会（区民ホール） 12月 クリスマス会

毎月 お誕生日会開催・プール学院OGコーラス、フラダンス、藤間流、  
音楽ボランティア、紙芝居、オカリナ、ハンドマッサージ

## 地域包括支援センター事業報告

### 1 地域包括支援ネットワークの構築

#### (1) 地域ケア会議の開催

##### 〔実施状況〕

- ・個別ケース地域ケア会議 21回（他圏域5件を含む）
- ・事例の振り返りと課題抽出会議 1回
- ・自立支援型ケアマネジメント検討会議 主催11回 参加8回

#### (2) 小圏域会議の開催

##### 〔実施状況〕

- ・ 6月 20日（舍利寺地域）  
内 容：体力測定と相談会の開催について  
出席者：地域役員、福祉コーディネーター、包括
- ・ 9月 6日（舍利寺地域）  
内 容：総合相談のまとめ・物忘れ講座について  
出席者：地域役員、福祉コーディネーター、包括、認知症施策担当
- ・ 9月 18日（舍利寺地域）  
内 容：舍利寺地域振り返り会議  
出席者：地域役員、福祉コーディネーター、包括、認知症施策担当
- ・ 10月 23日（舍利寺地域）  
内 容：健康相談会の振り返り  
出席者：地域役員、福祉コーディネーター、包括、認知症施策推進担当
- ・ 11月 13日（舍利寺地域）  
内 容：田島2北町会での取り組みについて  
出席者：地域役員、生活支援コーディネーター、区役所保健師  
　　福祉コーディネーター、包括、認知症施策推進担当
- ・ 10月 4日（生野地域）  
内 容：熱中症予防訪問による高齢者実態把握と見守りについて  
出席者：地域役員、民生委員、ブランチ、福祉コーディネーター、包括、  
　　認知症施策推進担当
- ・ 令和2年2月 28日（林寺地域）  
内 容：林寺連合総合相談のまとめ・今後の取り組みについて  
出席者：地域役員、包括、認知症施策推進担当

計 7回 (3 地域)

#### (3) 生野区訪問介護事業者連絡会の開催

##### 〔実施状況〕

- ・運営委員が中心になり研修会の企画、実施を行い、自主的な運営を行っている
- ・4包括協働事業、生野区地域包括支援センターが事務局を担っている。

連絡会による研修会を開催（9回）

（研修内容）

リスクマネジメント、災害時における対応、感染症、利用者からの苦情とハラスメントについて、ヘルパーカフェ、実地指導対策、ハウレンソウ研修、事例検討会、人権研修

（4）生野区グループホーム・小規模多機能ホーム連絡会の開催

【実施状況】

- ・2カ月に1回連絡会を開催し研修の企画、情報交換を行った。（計3回）

（5）生野区内地域包括支援センター連絡会の開催

【実施状況】

- ・月1回の開催。（計12回）
- ・区役所高齢担当職員も交え、各包括の取り組み、情報交換、協働事業の検討・実施・進捗報告について会議を行った。

（6）市内東ブロック地域包括支援センター連絡会の開催

【実施状況】

- ・3月に1回、研修会や情報交換会を行った。（計3回）

（7）社会貢献事業連絡会（大阪府社協）への参加

【実施状況】

- ・生野区・東成区合同CSW連絡会。研修会や情報交換会を行った。（計3回）

（8）地域密着型運営推進会議への参加

・グループホームあさひ	5回	・アミライフ林寺	5回
・よりあい処 菜の花	3回	・おがわ苑	5回
・くつろぎデイサービス夢の箱	2回		
・あでらんて二条商店街	1回		
・おかちやま（区在デイ）	1回		

（9）生野区くらしリセット連絡会議および地域見守りPT会議への参画

【実施状況】

- ・区役所、各地域包括支援センター、障がい者相談支援センターより個別ケースの報告、検討、情報共有、振り返り等を行った。（計6回）

(10) 高齢者の介護予防と生活支援を考える会議への参画

【実施状況】

- ・区役所、各地域包括支援センター、障がい者相談支援センター、区社協生活支援コーディネーター。取り組み報告、情報の共有を行った。(計 6 回)

(11) 東生野夜間中学校(在日外国籍住民)への福祉情報の啓発活動

【実施状況】

- ・5月、10月 計 2 回、教員への学習会と学生を対象に啓発活動を行った。

(12) つながっていくの会議への参画(民間事業者との見守り連携)

【実施状況】

- ・つながっていくの会議(孤立死をなくす民間事業所との連携検討会議)に参画。

## 2 認知症支援ネットワークの構築

(1) 在宅医療ネットワーク支援会議(医療・保健・福祉のネットワーク構築)、認知症高齢者支援ネットワーク会議(認知症高齢者支援ネットワークの構築)の事務局

【実施状況】

- ・会議開催は毎月 1 回。内、事例検討会(1回)、ワールドカフェ(1回)を開催し多職種の連携を図った。
- ・3月 14 日 区民向けの認知症予防、在宅医療支援の講演会及びシンポジウム  
    第1部 認知症講演会 講演「在宅か施設か お金の話」  
    第2部 在宅医療シンポジウム「もし 家族が認知症になつたら」  
※新型コロナの感染拡大防止に伴い 中止

(2) 関係者会議(認知症初期集中)

【実施状況】

- ・事務局を担い、市、市社協、区、オレンジチーム、区内包括で認知症初期集中支援チームの関係者会議を開催し、事業の報告を行った。(計 2 回)

(3) 組織代表者級会議開催

【実施状況】

- ・事務局を担い 10 月と 2 月に組織代表者級会議を開催し取り組み等の報告を行った。  
(計 2 回)

(4) 実務者レベルの会議(ワーキングチーム会議)の開催

【実施状況】

- ・毎月 1 回、認知症ネットワーク会議の実働部隊として研修や情報交換等を行った。  
(計 10 回)

いくみんお守りキー ホルダー



表

裏



申込者数  
2,820名

(5) いくみんお守りキー ホルダーの登録・配付

[実施状況]

- 新規に申込みのあった 125 人に配付した。(~No.2820)

### 3 総合相談支援業務・権利擁護業務

(1) 電話、来所、訪問による相談対応

[実施状況]

電 話	4,000 件	来 所	1,125 件
訪 問	1,004 件	その他	52 件
相談件数合計			6,181 件

(2) 総合相談・権利擁護相談の振り返り会議の開催

[実施状況]

- 毎月 1 回の課内会議にて相談支援についての振り返りを実施。(計 12 回)

(3) 総合相談窓口(ブランチ)連絡会および行事の開催

[実施状況]

- 計 9 回開催した。  
(内容) スキルアップのための研修会、事例検討会等を行った。

(4) 高齢者虐待防止ネットワークの構築

[実施状況]

- 8 月 21 日 区内居宅介護支援事業者、訪問介護等介護保険事業者を対象に、高齢者虐待防止と権利擁護研修会を開催。

(5) 在日外国籍高齢者の相談対応の充実

[実施状況]

- 毎月 4~5 件程度の在日外国籍高齢者の相談を受けている。

#### (6) 介護者家族の会（楽護会）の運営支援

##### 〔実施状況〕

- ・奇数月第2火曜日、偶数月第3木曜日に定例で開催した。
- ・事務局として、会の自主的な運営の支援を行った。
- ・勉強会、参加者同士の交流、介護負担の軽減、情報提供などをおこなっており毎回20名程度の参加がある。

#### (7) 家族介護支援教室の開催

##### 〔実施状況〕

- ・生野区地域包括による教室を9回（内ブランチとの共催8回）開催した。

#### (8) 高齢者向け住宅事業者連絡会への参画

##### 〔実施状況〕

- ・毎月1回の運営委員会にオブザーバーとして参加

#### (9) 認知症予防連続講座（おかちやま脳トレ教室）の開催

##### 〔実施状況〕

- ・認知症予防、笑いヨガ、体力測定、相撲甚句、等について講習を行った。（計11回）

### 4 包括的継続的マネジメント

#### (1) ケアマネジャーへの個別支援

##### 〔実施状況〕

- ・合計1,291件
- ・支援方針の助言、困難事例への対応、地域ケア会議の開催などを行った。

#### (2) 生野区居宅介護支援事業者連絡会の開催

##### 〔実施状況〕

- ・情報提供及び研修会などを実施（計10回）
- ・生野区内地域包括と連絡会運営委員により研修の企画など、事業の運営をおこなっている。生野区地域包括支援センターが事務局を担う

##### （研修内容）

医療との連携、法令遵守、介護保険外サービス、人権、生活保護についてなど

- ・11月　区民向けの講演会「人生会議～人生を語り伝えよう～」を開催。

参加者：163名

### (3) 生野区主任介護支援専門員連絡会の開催

#### [実施状況]

スーパーバイズの力量向上を目的として、2カ月に1回、コーチングや気づきの事例検討会等の研修会を開催した。

## 5 介護予防ケアマネジメント業務

### (1) 介護予防支援業務（要支援1・2認定者）

#### [実施状況]

- ・ ケアプラン作成、一部委託先へのプラン確認・指導・助言を実施

## 認知症初期集中支援推進事業報告

「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会」を実現するため、適切な支援につながっていない認知症初期の方を早期発見・早期診断・早期支援に結び付けました。また、日常生活圏域において構築してきた認知症の方を支援するネットワークを活用し、早期発見・早期診断・早期支援機能が自律的に機能し、認知症の方を支援する地域の体制を構築しました。

訪問支援対象者数：74

### 《月別内訳》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	24	23	23	25	21	19	22	23	22	23	28	280

### 《年齢・性別別内訳》

	64 以下	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90 以上	不明	合 計
男性	0	2	2	6	17	7	2	0	36
女性	2	0	2	13	12	6	3	2	38
合計	2	2	4	19	29	13	5	2	74

### 《世帯類型別内訳》

独居	夫婦のみ	未婚の子 と同居	子世帯と 同居	配偶者と 子と同居	その他親 族と同居	合計
40	19	7	5	2	1	74

### 《相談・紹介経路別内訳》

家族（同居）	20	旧地域ネットワーク推進員	1
家族（別居）	14	医療機関（開業医）	3
家主・管理人	2	医療機関（病院）	1
プランチ	2	薬局	3
地域包括支援センター	2	警察	3
老人福祉センター	1	区役所（ケースワーカー）	5
見守り相談室（区社協）	2	郵便局	1
近隣住民	5	銀行	2
		初期集中支援事業チーム	2
町会（町会長等）	3	合計	74

《介入前》

未申請	申請中	区変中	自立	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5
58	7	0	0	6	2	0	1	0	0	0

《介入後》

未申請	申請中	区変中	自立	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5
11	18	1	1	9	5	22	6	1	0	0

《認知症の診断状況》

鑑別診断	無（支援中含む）	計
58	16	74

《相談のみのケース：77 件》

(内訳)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
9	6	12	6	6	4	6	6	5	5	8	4	77

**老人福祉センター事業報告**

**平成31年度 生野区老人福祉センター事業報告(月別)**

月	老人福祉センター				生野区老人クラブ連合会	
	行事等	参加人数	健康増進関係	参加人数	行事等	参加人数
4 月	世話人会	48	健康セミナー①(前期) 「真向法」	44	区老連定例委員会	12
	お楽しみ会「金融トラブルに巻き込まれないために」	22			第18回 グラウンドゴルフ大会	95
	交通安全・防犯講習	93			女性部料理講習会	16
	いきいき百歳体操	302				
5 月	世話人会	42	健康セミナー②(前期) 「高齢者に多い病気」	45	区老連定例委員会	12
	お楽しみ会「落語会」	40			ウォーキング講習会	20
	輪投げ大会(練習含む)	83			第1回ウォーキング	20
	交通安全講習	28				
6 月	いきいき百歳体操	234				
	世話人会	42	健康セミナー③(前期) 「歯みがき教室」 百歳体操(第1回 実技指導)	37 38	区老連定例委員会	13
	お楽しみ会(館外) 「ちくわ・かまぼこ作り体験」	26			第2回ウォーキング	21
	パンペー大会	22				
7 月	いきいき百歳体操	293				
	世話人会	37	健康セミナー④(前期) 「高齢者の耳の病気」 百歳体操(第2回 実技指導)	61 35	区老連定例委員会	13
	工作ボランティア養成講座	22			夏季遊歩会	56
	交流卓球大会(西成区)	38				
	お楽しみ会「交通安全講習」	24				
	施設運営委員会・生きがいと健康づくり総合会議	32				
	演芸会	202				
8 月	いきいき百歳体操	314				
	世話人会	37	百歳体操(第2回 実技指導)	35	区老連定例委員会	13
	小夏まつり(IIK共催事業) (設営準備・練習含む)	145			単位会長・女性部長 合同研修会	47
	夏季囲碁・将棋大会	24				
	交通安全講習	70				
9 月	いきいき百歳体操	198				
	世話人会	43	健康セミナー⑤(前期) 「高齢者に多い骨折」	40	区老連定例委員会	13
	文化祭実行委員会	24			社会奉仕の日	520
	お楽しみ会「体力測定」	22			ねたきり老人友愛訪問	19
	交通安全自転車教室	25			いくのゆうゆうクラブ大会	353
	ラージボール卓球大会	32				
	スマートフォン教室	47				
10 月	いきいき百歳体操	282				
	世話人会	46	健康セミナー①(後期) 「お口の健康体操」	29	区老連定例委員会	12
	ものづくり体験 (日帰りバス)	82				
	交流卓球大会(東成区)	48				
	文化祭実行委員会 (プログラム作成含む)	47				
	自衛消防訓練	62				
	ナインボール大会	24				
	お楽しみ会(水引結び) 「文化祭出品作品の作成」	10				
	いきいき百歳体操	235				

11 月	世話人会	28	健康セミナー②(後期) 「薬剤師に聞く薬の色々」	33	区老連定例委員会 88歳 長寿お祝い	8 57
	第19回 文化祭 (IIK共催事業) 文化祭準備 (57人) 文化祭設営 (19人) 文化祭後片付け (30人)	967	百歳体操(第3回 実技指導)	38	第19回文化祭	967
	シニアスクール①②③ ①「篆刻づくり体験」 ②「難波之宮跡現地見学」 ③「水墨画体験」	55				
	干支押絵講習会	23				
	いきいき百歳体操	158				
	世話人会	36	健康セミナー③(後期) 「高齢者に多い爪の病気」	26	第16回 女性部 スリーアイズ大会	53
	お楽しみ会 (編み物講習) 「ネックウォーマー&フリンジハット」	17			区老連定例委員会	12
	クリスマス会 「歌歌クリスマス」	62			女性部押絵講習会	40
	世代間交流クリスマス会 「生野保育所にて」	50				
	シニアスクール④⑤ ④「落語体験セミナー」 ⑤「健康ボイストレーニング」	34				
	交通安全講習	73				
	自転車安全啓発 (区役所)	86				
	年末大掃除	54				
	いきいき百歳体操	232				
	世話人会	36				
12 月	お楽しみ会 「ダンス&整体ストレッチ」	22	健康セミナー④(後期) 「老化に伴う肺の病気」	34	区老連定例委員会	12
	交通安全講習「かるたでかかる」	5			区老連「スリーアイズ大会」	73
	スマートフォン教室	47				
	交流卓球大会 (港区)	40				
	いきいき百歳体操	251				
	世話人会	33				
1 月	いくのコリア文化体験 (IIK 共催事業「韓国舞踊と楽器」)	30	健康セミナー⑤(後期) (中止) 「地域包括支援の役割」 百歳体操(第4回 実技指導)	40	区老連定例委員会	11
	第17回区民スリーアイズ 大会(従事者31人含む)	262				
	東プロロック交流卓球大会	112				
	健康教育&結核検診	13				
	スマートフォン教室	34				
	スマホボランティア養成講座	18				
	いきいき百歳体操	145				
	お楽しみ会「練功体験」(中止)					
	畠でスリーアイズ大会(中止)					
	世話人会 (中止)					
2 月	お楽しみ会「普通救命講習」(中止)		百歳体操講習会 (中止)		区老連定例委員会	12
	冬季囲碁・将棋大会(中止)				※在宅サービスセンターにて開催	
	自衛消防訓練 (中止)					
	長寿お祝い会 (中止)					
	介護予防講習会 (中止)					
	いきいき百歳体操 (中止)					
3 月	※(中止)					
	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年2月29日 (土曜日) から当分の間、老人福祉センターが休館のため。					



4～9月 健康セミナー前期(第1回)



6月のお楽しみ会 ちくわ・かまぼこ作り体験



9月ラージボール卓球大会



11月 第19回 文化祭



9月 高齢者自転車安全教室



11～12月 シニアスクール(第2回 難波之宮現地見学)



12月 クリスマス会(世代間交流)



1月 スマートフォン教室(応用編)

**大阪府共同募金会生野地区募金会**

7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区地域振興会 連合振興町会長会議 [10日] 平成31年度共同募金運動 及び 目標額(大阪府・生野区・連合別) について説明</li> <li>・共同募金運動にともなう募金資材の配付</li> </ul>														
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街頭募金活動(地下鉄 千日前線 北巽駅前・小路駅前) 10団体 57名の参加</li> </ul>														
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区地域振興会 連合振興町会長会議 [13日] 平成31年度共同募金運動実績報告  <b>【実績額】 7,908,886円</b>            ※目標額 9,098,000円に対する達成率 86.93%            (内訳)           <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 40%;">戸別募金</td> <td style="width: 60%;">6,475,340円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金</td> <td>74,080円</td> </tr> <tr> <td>バッヂ</td> <td>815,000円</td> </tr> <tr> <td>学校募金</td> <td>341,427円</td> </tr> <tr> <td>職域募金</td> <td>2,800円</td> </tr> <tr> <td>D M 法人</td> <td>177,739円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22,500円</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>	戸別募金	6,475,340円	街頭募金	74,080円	バッヂ	815,000円	学校募金	341,427円	職域募金	2,800円	D M 法人	177,739円	その他	22,500円
戸別募金	6,475,340円														
街頭募金	74,080円														
バッヂ	815,000円														
学校募金	341,427円														
職域募金	2,800円														
D M 法人	177,739円														
その他	22,500円														

**日本赤十字社大阪府支部生野地区**

4月～5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度赤十字運動            目標額 10,439,000円            実績額 13,195,384円            ※内各連合の実績額：10,196,604円         </li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雨災害及び台風被害への募金活動：7,606,997円</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生野区赤十字奉仕団・生野区社会福祉施設連盟合同防災イベント</li> </ul>

